

公益社団法人 中部日本書道会 一宮支部

第52回 学生書道展

支部次長 牧 仙 岳

▼会期 令和六年十一月二十三日(土)～二十四日(日)

▼会場 一宮スポーツ文化センター

今年度は、支部創立七十周年を記念し、特別企画として、自分自身にとって大切な宝物である書の展示会「宝の書」を併催しました。その結果、多くの方々に支部の活動に触れていただく機会を提供できたと思っております。その効果もあり学生展は大変な賑わいとなりました。イベントのカレンダー書き、賞状・賞品引換えは、大変な盛況ぶりです。関係者一同ほつとする間もないほどの忙しさでした。

しかし一方で、今年の出展品点数は昨年より約一五〇点も減少しており、ここ数年は、この傾向が続いています。こうした状況を踏まえ、改めて「字を書くことの楽しさ、大切さ」を次世代にどう伝えるかが重要だと痛感しています。ただ美しく書くのではなく、一筆一筆に心を込め、自分の思いを形にする書道の魅力をより多くの人々に伝えたいと思っております。

イベントでは、子どもたちが楽しそうに文字を書き真剣



に取り組む姿が印象的でした。そして、自分が書いた作品に印を押してもらった後の満足げな笑顔は、忘れられない瞬間です。このような姿を見ると、文字を書くことの楽しさをさらに広げる場を作り、多くの人々にその喜びを感じてもらえるよう努力すべきと改めて感じます。今後は、関係者と議論を重ね、書道の魅力をさらに広めるために新たな取り組みを進めていきたいと思っております。

最後に、この企画にご協力いただきました先生方や役員の皆様へ深く感謝申し上げます。皆様のご支援のおかげで、支部創立七十周年を成功裏に終えることができました。この経験を糧に、これからも書道の魅力を伝え続けてまいりたいと思っております。今後とも、皆様方のご協力、よろしくお願いいたします。

総出品点数	二、七九五点
特別出品	四〇点
個人賞（知事賞・菊花賞）	
特選	一、一五二点
特選	一、一〇七点
金賞	四九六点
展示作品数	八五九点